

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10050030

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	6	下水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 雄武公共下水道コンポスト施設機器分解整備：32基～継続事業
基本施策	17	上・下水道の整備	事業優先度	B		
単位施策	2	下水道の普及促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武公共下水道コンポスト施設機器分解整備事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	分解整備機器					
事業目標	14基					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	10 建設水道課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	雄武公共下水道コンポスト施設機器分解整備～14基	コンポスト施設機器分解整備 ・攪拌機走行レール補修 ・送気フロア2台	コンポスト施設機器分解整備 ・攪拌機 ・送気フロア2台 ・保守点検	コンポスト施設機器分解整備 ・動力変圧器盤 ・低圧動力盤 ・送気フロア2台 ・保守点検	コンポスト施設機器分解整備 ・送気フロア2台 ・保守点検	コンポスト施設機器分解整備 ・送気フロア2台 ・保守点検	
	事業費(千円)	8,350	2,500	2,460	1,430	980	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	8,350	2,500	2,460	1,430	980		
実績事業費	事業費(千円)	6,302	2,468	2,430	1,404	0	
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	6,302	2,468	2,430	1,404			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) コンポスト施設機器分解整備 ・攪拌機走行レール補修 ・送気フロア2台	(実施内容等) コンポスト施設機器分解整備 ・攪拌機 ・2次発酵棟屋根 ・送気フロア1台 ・保守点検	(実施内容等) コンポスト施設機器分解整備 ・動力変圧器盤 ・低圧動力盤 ・送気フロア2台 ・保守点検	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	3基	3基	4基	2基	2基
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率		99%	99%	98%	0%
		全体達成率	30%	59%	75%	75%	75%
	備考欄						

事業名	雄武公共下水道コンポスト施設機器分解整備事業	評価者	管理職	職氏名	建設水道課長	山崎 佳之
		評価者	作成者	職氏名	下水道係長	下斗米 勇

様式1  
平成27年度実施  
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、雄武公共下水道コンポスト施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	分解整備機器数	
【抱える課題やニーズは】	機器故障による雄武公共下水道コンポスト施設の機能停止	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	下水道汚泥を処理するための機器の安定稼動	① 分解整備機器数/分解整備機器数の実績	目標年度	平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	下水道汚泥を堆肥化し緑農地還元し有効利用を図る。		目標値	4基
			実績値	4基
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成27年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による修繕の実施	民間業者に依頼し、機器の分解整備等を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公共用水域の水質保全、快適な居住環境の確保を図るための下水道汚泥処理については、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	機器の消耗部品の取替を含む分解整備により、機器の延命化が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	雄武浄化センター維持管理委託業務の受託者である民間企業に委託したことで経費の軽減を図ったことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	公共用水域の水質保全、快適な居住環境の確保を図るべく、下水道汚泥を堆肥化して緑農地還元し有効利用することは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
機器更新時期までの延命化を図るためには、当該事業を実施する必要があり、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
機器故障の未然防止のためには、継続・状態維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止